明治三十二年四月二十八日發行（明治二十一年二月二十八日內務省許可）

婦人衛生雜誌

第百三十號

私立大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌

第百拾參號目次

講演

一 神經質(子ルオチテート)の話　醫學士 山田鐵造君

寄書

一 理髮所の弊害　會員 千合登茂子報

衛生叢談

一 白粉を裝ふ起原に就て　(二十四)

一 皮膚を奇麗にする仕方　(二十五)

一 白粉の種類及良否　(二十五)

一 白粉の良否鑑別法　(二十六)

近事片々

○中央看護法講習所卒業式　(二十七)

○海港檢疫所　(二十七)

○停車場の待合所　(二十七)

○コッホ氏の熱帶旅行　(二十七)

○警視廳の衛生主任會　(二十七)

○職工者と肺病　(二十七)

○我國醫師現在數　(二十八)

○衛生講習會卒業式　(二十八)

○學校病類別　(二十八)

○日本体育會　(二十八)

○萬國肺結核撲滅會議　(二十八)

○消毒器の据付　(二十九)

○香港の檢疫所設置　(二十九)

○本年最初のコレラ病　(二十九)

○青森へ旅行の注意　(二十九)

○西越地方痲疹流行　(二十九)

○新潟監獄内の脚氣病　(二十九)

○獸疫流行　(二十九)

○狂犬數名を嚙む　(二十九)

○赤痢病の影響　(三　十)

大日本婦人衛生會記事

○本會春期懇親會景況　(三　十)

○懇親會寄附　(三十二)

○入會轉居　(三十三)

○廣告數件

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

例會廣告

來五月十三日第二土曜日午后一時より御茶の水女子師範學校内に於て本會の例會相開申候當日は帝國大學囑托講師ベルッ氏に講演を依托いたし仝氏は豫て婦人の躰育に就て取調べ居らるよしなれば定て嶄新有益の事も多かるべく候間萬障御繰合せ御來會相成度候也

演題

一女子の體育に就て　ベルッ氏

右通譯　醫學士　三島通良君

明治三十二年四月

私立大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

（明治三十二年四月廿七日發行）

講演

神經質の話

醫學士　山田鐵藏君演說

神經質と云ふ語は、隨分皆様も常に多く御遣ひになる語でございます。極く俗に申して見ますると、小兒では虫が強いとか、大人では神經が強いとか云ふやうな語で御坐います。併ながら神經質と云ふ事の解釋の確かなる事になると、隨分專門の學者の間でも、種々其說を異にするので御坐います。ソレで神經質の解釋に就て御話を致しませうと存じまするには、先づ第一神經といふものに就て一通りの御話を致さなければならむと考へます。

古來より英雄豪傑と申しまするも、匹夫匹婦と云ふも、又は怜悧であると云ふのも、愚鈍であるといふのも、皆此神經の作用一つに關係するとで御坐います。ソレで御坐いまするからして神經の作用といふものは、人間に取りまして最必要、最大切なる部分で御坐います、故に神經といふことに就て、

一應皆樣の清聽を煩はしまするのも敢て無益な冗辯ではあるまいかと思ひます。玆に粗末な圖（腦脊隨末梢神經の圖）を揭げまして御話を致しますが、極く理解り易く撮言で大體の御話をして見ると、人間の神經系と云ふものを分けまして三つに區別致すので有ります。則ち腦○脊髓○脊髓を通り手足等に分布がる處の末梢神經と云ふもので御坐います。扨て腦は何う云ふ作用を持つて居るかと云ふと、腦の中には我々の精神と云ふもの丶宿る處と運動を司る部分と有ります、今私が斯うして御話を致しますにも、先づ此赤く印して有りまする處の精神中樞の部分（腦の前部）が非常にはたらいて居るので御坐います、此働きが舌の運動神經に命令を傳ひ舌が働き、始めて皆樣の御耳に入るのであります此處の靑く印した所（腦の中部分）が運動神經の中樞で御坐います。畢竟我々が手を動すと云ふのは此處の場所が働いて始めて動くと云ふ工合になつて居ります。此精神即ち神識のある部分と運動神經の間はどう云ふ風になつて居るかと言ひますると、一條の道が附いて居ります。ソレで私が手を動かさうと云ふ事を精神に考へまするると、その刺戟が運動神經の中樞の方に傳つて、而して手を動すことになるので御坐います。腦から致して神經が諸方に分布て居る神經に付て申し上れば二ッの種類が有ります、運動神經の中樞から運動神經が出て居ります、又知覺神經の中樞から知覺神經と云ふのが出て居ます例之ば我々が手を動かさうと思ふのは、則ち此處（神識の中樞）で考へるので、其考へた事を運動神經に傳へてさうして始めて手を動かすので有ります。又或は指尖に針を刺し或は抓めりなどし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ますると、其感覺を末端の知覺神經から傳へて腦に感ずるので有ります、我々が寒暑を感じ、痛痒を覺ゆるのもやはりその理由で有ります。今此神經系を滊車に譬へて見ますると、腦は則ち中央停車場で、運動神經は下り滊車知覺神經は上り滊車と同樣で有ります。されば脊髓とは何う云ふ關係を持つて居るかと云ふに、つまり神經なる線路の通る線が脊髓であるのです。何故此脊髓といふものが必要であるかと云ふに、則ち是れは列車の通る線路でも有り、小停車場でもあるのです。ソコで腦と云ふ中央滊車場からの下り滊車が、脊髓の小さい停車場で始めて別れて兩の手の方に往き又足の先きの方に往くのであります。例令は上野から發して高崎に參らうと云ふ時分には、大宮で乘換をしなければならない、ソレと同じで、手を高崎と假定すれば此處（脊髓上部）は大宮に當つて居る、此大宮で乘り換えをして高崎に着く、又高崎から參るにも矢張り大宮で乘り換えをして、上野の停車場即ち腦に感覺を與へるので有ります――但し私が中央停車場と申したのは、腦全躰を指したので、元より知覺神經の中樞と運動神經の中樞は別で有ります、夫に付ては前に御話し致した通りで御座ひますが一口に譬へて申せば腦は中央停車場で、脊髓と云ふは線路が通る道で其間に小停車場が有つて、滊車即ち神經が各所に分かれるとが出來ると考へて差支は無からうと思ひます。此方にしるしたのは脊髓を見易き爲め大きく書いたので有ります、矢の根の方向の下にむかつて居るのは運動神經、運動の神經が脊髓の停車場に參つて諸所に分れる、此方の矢の根の方向の上にむかつて居るのは知覺神經の方

で、例之ば手の知覺神經なれば、手の方から脊髓の停車場を通つて腦に達するので御座ます右の理ですから脊髓の線路がだん〳〵下方になるに從つて少なくなつて參ります。先づ神經系の解剖生理の大躰を極く手短く御話すればこの位ゐで大抵御解りになりましたらうと思ひます。此脊髓に在りまする停車場に付て一寸申上れば、滊車の通ずる各小驛の停車場と同じ樣な工合に、水、石炭が無くなるソレを積み込む場所と考へて差支ない、その爲めに斯う云ふ(圖に付て示されつゝ)停車場が脊髓に在るので御坐います。(以上は圖に就て示しつゝ演せられたるなれば明了ならざる處あれど御諒察を云ふ)

進んで腦脊髓末梢神經の疾病に就てお話しをしなければならむと考へます、先づ此神經の疾病に、大躰の區別をすれば二つの種類が有ります、則ち器質的の疾病、機能的の疾患で有ります。器質的の病といふのは其病根の解剖上、我々の眼に見ゆる病、言ひ換えれば冐された部分が吾人の目で見えるのである腦の病であればその腦を解剖して如何にも是れが病原であると云ふことを覺るとの出來る病を云ふので有ります、其例を御話しましたら早く御解りにならうと思ひます。まづ腦病なれば卒中の如きもの、卒中と云ふのは腦に血管の破れ血が出る病である、腦出血と云ふのは名の表はす通りで、主に運動神經の中樞の部分或は其通路に出血致すので有ります其出血の爲めに重に半身が冐され、而して作用を失ひます、つまり腦の一部に出血が有ると其爲めに其部分を通り居る神經が壓迫られて營養が惡くなり作用が無くなるのです、さうなると出血した部分を通つて居る處の手の神經も利かなく

なり、足の神經も利かなくなります、腦に出血を致しますれば元より私共は是れを解剖して見れば明かに出血の場所が解る、是等は一の器質的の病氣で有ります。脊髓の方で例を言へば、脊髓炎、脊髓炎と云ふ事は隨分廣い語で御存知の御方が多い病で有ります、兩脚が利かなくなり、或は双手か利かなくなる病、脊髓の此一分部(脊髓の下方圖に據つて示されたるものなり)が冐されると是れより以下の兩足共に利かなく爲ります、是等は解剖して見れば果して脊髓に疾病のあることは充分に解るので有ります。末梢神經の器質的の病氣の最も著しきは癩病、是れは器質的の末梢神經の病氣に隨分多く有ります、つまり神經の末端、手の尖足の尖等が痲痺をして、切つても燒いても痛みを感ぜぬ樣になる、此病の狀態は隨分皆樣も御覽になつた事が澤山御坐いませう、此等の病に於ては皆神經に變りの有ることを、充分認むることが出來るので有ります。只今例を述べました通り器質的の病と申すのは冐された部分を我々が眼で見ることが出來るので有ります。

さて神經の機能的の病と申せば、則ち神經の作用の上の病で、此病氣も、自他感覺に現はれては居りますけれども、ソレを病理解剖で神經に何う云ふ變化を來して居ると云ふ證明が出來む、只作用の上の病をいふので有ります。譬へて見れば瘋癲の如きは、精神即ち神識中樞の疾病で有ります、併ながら解剖しまして何う云ふ變化を起して居るかと云ふ事は未明かで無いでの有ります。此外皆樣の御耳にも屢々入りませうが、ヒステリー或は神經衰弱等で御座います、ヒステリーといへば多くは御婦

人の疾病ひで、御腹から玉が胸の方に上がつて來るやうだとか、呼吸が止まりさうだとか、或は眼眩がする或は悲しくなるとか、原因が無くして可笑くなるとか、總て聽いた事でも見たとでも氣に叶はむとか、或は又痙攣を起す、所謂癪と云ふ樣なものでございますとか、其他種々色々の兆候を現はす處の疾病で御坐います。ソレから又神經衰弱と云ふのもやはり同じ樣な病、頭が痛いとか重いとか頭が虚になつたやうな氣持がするとか、眼眩がするとか、記臆力が減ずるとか、忍耐力が薄くなるとか云ふ樣な病で有ります其外ヒポコンデリー、此病も皆樣の御談にしば〳〵出る疾病で御座います。何うも腦の中が空虚になつたとか、或は胃に腫物が出來たやうだとか、或は肺病になつた樣な氣持がするとかいつて一の刺戟を重病の樣に考へるのである。或は其外舞踏病であるとかと、(舞踏病とは始終四肢が動き通しの病)、或はバセトシ病、眼球が飛び出で咽喉が太くなつて非常に動悸が强くするとか云ふ樣な病、是等の病氣は解剖をしても病理解剖上の成績は少しも解らない、腦の變化が眼に見えむので有ります、併ながら是れも一つの神經の病であると云ふだけは多くの學者の信じて居る處で有ります、是等を神經の機能的疾患と云ふのであります。

扨此神經質と云ふ解釋は何う云ふ意味を持つて居るかと云ふに、此神經の機能的疾患に罹り易いと云ふ性質を持つて居ると云ふ事、或は既に罹り宛有ると云ふ意味をも持つて居るので有ります。それで御坐いまするからして此神經質と云ふものになると、一身に取つては非常な不幸を來し、又一個人の

不幸のみならず、社會の上にも大なる害を與へることが多い、例へば幼少の者が神經質にかゝると、元より記臆も鈍く忍耐力も無くなつて、遂に學業を成遂げる事も出來むので有ります。或は又御婦人などになりますると、自分の思想と、世の中の有様とは全然違つたやうな結果を生ずる、少しの事も大へんに氣に懸け、總ての感覺が非常に鋭くなりまして、遂に生涯良人を求むることも出來ぬと云ふ結果が隨分御座います。或は大人であれば無論事業を執ることは出來ず、社會の人々と交際も出來なく、總て自分の意の儘にならむ樣に常に怏鬱として不平を抱き、其極遂に自殺を企て、或は又自分の意に合はぬものでもあればソレを暗殺すると云ふやうな結果が有る、ソレ故世の殺人罪を犯す者は主に神經質の者に多いので有ります。

進で神經質と云ふものは、歴史上に如何なる關係を持つて居るかと云ふことを御話しますれば、此世の中の開化に伴つて神經質と云ふものは日に増し多くなつて來る、古い事は固より解りませんけれども西洋で申して見ますると、此十九世紀の初めから日に月に神經質を増し、今日では神經質時代とまで稱へる位ゐで有ります、ソレは何う云ふ爲めに神經質を增して來たかと云ふに、色々の關係が有ります。ア十九世紀の初期政治上にまれ、宗教上にまれ、教育上にまれ、非常な大改革を來したので有ります。例之ば佛蘭西の革命、奈勃翁の戰爭、就中奈勃翁などゝ云ふ人は、其名を、東洋日本の、僻村の童兒まで心得て居る位て、歐羅巴大陸には奈勃翁の事業が非常な影響を與へた。又學問上から言

つて見れば、法律學經濟學文學或は我々の學びつゝある醫學理學に致しましても、非常に進歩して其爲めに吾人の腦力を費さなければならむ事が日に增し多くなつて來ました。又社會上から言つて見ると、此世紀の中頃より、蒸氣船、鐵道汽車、電信、電話等を設けられ、全世界に橋を渡してあるけるやうな有樣にまで進歩して來ました、斯樣に世の中が開明文化に進みますると、其結果一つの生存競爭と云ふ事が激しくなつて來て、貧窮の者は衣食の爲に間斷なく頭を惱まし、富者は飽くまで奢侈ならむ事を欲し、或は非望を企て日々夜々神經を刺戟すること甚だしく、それが今日は非常な極點に達して居る。一例を申せば米國は御存の通りの國て御座いまして米人神經質と云ふ言葉が專門家に傳つて居ります日本に於ても矢張り同じことで、第一敎育上の事から言つて見れば、昔日は男子でも主に漢學を脩めて、四書五經位ゐを讀み、僅かに倫理の道を辨へさへすればまづ大學者になり裁判官になり大政事家になり立派に世に立つて往くことが出來たのであるが、今日はどふである乎、總ての學問が發達して居つて、法律でも、經濟でも、文學でも、凡て學問の蘊奧を極めて居ると申して差支ない時代故ソレがために皆精神を勞することが甚だしい、殊に外國との交際が開けて以來、從來は縱にのみ讀んだ文字を、横に讀まなければならない有樣になつて來ましたので、此外國語研究が非常に人々の腦漿を刺戟したもので有ります。男子ですら斯くの如くで有りますから、御婦人は尙更通例女大學の一冊も讀めば足りて居つた、然るに今の世はなか／＼さう云ふ譯に參らぬ、小學より甫つて高

等の學科を修め、其上に何ぼ音樂或は禮義作法と云ふ様なものを御研究にならなければならない譯で御坐いますから、古の婦人と比べては、今の婦人はなか／＼に學ぶ事が多く、從つて腦を勞することも增して參つたので有ります。ソレから又生存競爭の事に就て申しますれば、西洋に於ける關係と同じく、昔は日本などでは蒸氣船などゝ云ひまするも、開港地の人でもなければ視たこともなかつたのを、今日は一ヶ月に二三回の定期航海が外國と連絡して居る、又昔は穀と野菜とを以て滿足をして居つたはものが、汽車の便に因つて、山國の住民も魚類を食べらるゝと云ふ様になつて、又その他の商賣に致しましても凡てのものゝ競爭が烈しくなつて、從つて一方には便利につれて奢侈と云ふことが增して來る、さうしますると眼には見えぬやうで御座いますけれども人々が神經を非常に刺戟するので御座います。斯う申したばかりでは、神經質と云ふものは以前より增して居るか何うか御解りにならむで御座いませうが、實際此神經質の事に就ての統計と云ふ様なものは別に西洋にも無い、それで御座いまするからして、以前と比較ましてどの位ひ增したか百人の中に就て神經質の者が何人增したと云ふ様な事は元より御話は出來ぬ、併ながら西洋では大學と云ふものは、古い所では三百年前にも出來て居る、それ等に從事して居る者の言ふ所では、確かに神經質は日に／＼增して今日は殆ど其頂上に達して居ると云ふは事實の様で御座います日本に於きましても同様に御座います。ヂ僅かの實驗では御座いますが、私が甫めて醫學を修めて、病人に接してから以來を考へても非常に此等神經の疾

患が增して居ると考へる、初めには大學の臨床講義に、或は外來の患者などの如きも、神經質の所謂只今申したヒステリー神經衰弱等の病者は爾う多くはなかつた、然るに近來になりまして非常に增加し、其半數或は三分一の外來患者は神經質の患者で御座いますそれから又私は歸朝以來自ら病人を扱ひますることは僅かに數月で御座いますが、神經病の患者が五百名の多きに達して居る、其中にいつでも奇病非らざるはなしで以前は私共が漸く雜誌で以てはじめて其病を知つたと云ふ位ゐの奇らしき病が、隨分澤山に在るので御座います。殊に其中で驚きましたのは小女のヒステリー或は男子のヒステリー等割合に多く見ましたヒステリーと申せば御婦人に限る者の樣に又御婦人でも十七八歲以上の方に限る樣に皆樣か御考いなる方が多いです隨分澤山ある醫師でも左樣考へる人が隨分ありますヒステリーと申すは十二三才の小女にも有ます又男子にもあります尤も私は專門と神經病を研究して居ますから斯樣な患者の多く聚るのは當然では御坐いますけれども、何れにしても神經質の患者を增したと云ふことは爭ふべからざる事實のやうに考へて居ります。斯く申せば神經質と云ふ病は何の爲めに日に增して來るかと云ふことは大低御解りでございませうが、尙ほ進てその原因と致して逐條御話をしやうと存ます撮言すれば神經質と云ふ者は精神、身體の過勞から起るもので有ります。小兒で申せば精神の過勞と云ふは少年者に取りては主に小學の敎育でございます、是れは兒童學年が定まつて居つて如何とも詮方がないが何家にも衛生家の考と敎育家の考と衝突する事かあります要するに

小兒には荷が重すぎると平適當たと云ふ點に御坐います。小學校では先づ一日の授業時間五時間と定つて居りますけれども此五時間も學科の難易に由つて其精神を勞する上に大へんな差が有ります、小兒に學科のむづかしきものを授け、或は又宿題を授け、或は又脩學時間と遊歩時間の平均が悪るいとか、或は敎師があまり嚴酷であるとか云ふやうな事は小兒をして神經質とならしむる原因で有ります又御婦人には有り勝ちの事ながら學校以外に琴の稽古、茶の湯の稽古、挿花の稽古と云ふやうなものを盛に御授けになるが、是等の事は餘程御考へを要することゝ存じます。一躰御婦人は幼い時より非常に名譽心の張つて居る者で有ります、又幼年の時勉强力も男子に比較して一層强いのであります。御兩親方は學校の出來榮を御覽になつて先づ出來得るだけの仕事を御授けになり本人も負ぬ氣になり堪得るたけ勉められると云ふは總て通例の樣で朝から夕まで少しの暇もないやうにいろ〳〵の事業を授ける、是れが最も神經質と云ふ病に取つては宜しくないのであります。實驗上小學校に於きましても、毎も成績拔群であると云ふ樣な生徒は主に神經質の人に多い、先達より時々見受けまするが、所謂ヒステリー性の聲躰の麻痺と申して聲が枯れて出なくなる、或は舞踏病、四肢の總ての筋が運動してまるで舞でもして居るやうな病に罹つた婦人に三四回接しました、又ヒステリ性の發狂、又一時性の痴鈍症等を見受けましたこれらは皆試驗後から起た病の樣て御座いました是れ等に點に就ては切に皆樣の御注意を煩はしたいので有ります。次に一家の事情……是れは何うも御話をしても實行

の難いもので御座います、實に一家の事情は精神を勞することが多い、素より今日御出席の御方々には然る御經驗は御座いますまいが、就中家政困難と云ふものは非常に腦漿を刺戟する、私共も書生中に隨分經驗の有る事ですか、金の缺乏は非常に頭を痛めるものであります、其外日本では舅 姑と云ふものが、非常に勢力を持つて居つて、是等の事情が、恰も兒女に取りては小學校の試驗と匹敵する程の心勞をするもので有ります、若き嫁の身になると、此舅 姑に對して精神を勞することは甚だ尠なからむので、頑固の舅姑を持つたものは、神經質になると申しても差支ない位ゐで有ります。

個人的不平非望も神經を勞する大なる者男子にとりては學問を研究したくても學資が無くて出來むとか、若くは一つの事業を企て大きな望みを懷き、非望を抱いて成らざる時は不平を起すと云ふやうな事が非常に神經質の原因になる、其他又公務上の事に就て言つて見れば、政黨の事に關係するとか、政治上の事に關係するとか、或は宗 教上の關係、或は又政府の役人になつて心勞するとか、ソレ〳〵腦漿を遣うことゝは非常なもので、これ等は大人の男子に取て最も著しき一原因となるので有ります、其外食物の關係、是れ等はさほど大なる事はございませぬが、先づ「アルコール」の濫用は第一に述へななければなりませぬ私はやがて此「アルコール」の爲めに神經病を起して參るものが多くなりはせむかと云ふ考へが有る、ソレは第一に葡萄酒、日本製に係る葡萄酒は大抵「アルコール」で製したもので有る、是等を病時には隨分多く用ひる、或は價の廉なるが爲めに、平日も之を御用ひになる、

是れは考へて見ればなか〳〵危險な事で有ります。日本製の葡萄酒は「アルコール」に砂糖を混じて、其上に眞個の香氣ある葡萄酒を少し許り加へて販賣するもの丶多い樣に承知して居ります、此れ等の事も衞生上一應御承知になつて置かなければならないと考へます。其外珈琲茶煙草とか云ふ樣なもので有ります、併し是等は日本では著しき原因にはならないで御座いましよ又身軆上の原因になることは過度の運動、運動にも色々有りますが、就中年壯者の自轉車に乘らる丶ことですが、自轉者も只樂みの一として日に一時間とか三十分とか僅かな時間を乘り歩るくのならば決して害はないが、あ丶云ふものは少し上手に乘れて來ると、今度は人と競爭をしやうと云ふ考へが起つて來るもので、ソレが爲めに無益な勞力をすることは往々在ることですから、餘り御子樣方などには御許しにならむ方が宜いと思ひます。其外短艇、是れなども初めは隨分慰みのつもりで有りましても漸々上手になると競爭を試みやう、なほ一層進んでは日本人同士では面白くないから、外國人と競爭をして見やうと云ふ樣になつて、從つて充分の練習を要します……私共も實驗は御在ますが、練習後の疲勞は丁度試驗後の疲勞と同じで、非常に神經が過敏になるもので御座ます、是等は概して神經質の原因になります、どうか此邊にも貴婦人方の御注意を煩はしたいと思ひます。

又神經質の遺傳と云ふ事は隨分多くして、就中ヒステリー――癲癇の如きものに最多い、次に血族結婚は神經の病に取つて最大切なる關係を持つて居ります、故に神經の病を醫師か診察するには、必ず

此血族結婚なるや否やを問ふのが順序のやうになつて居ります、其外身躰衰弱のために起る神經質の病が有ります、ソレは傳染病後或は貧血或は又腸胃病の後等に見受ます日本などでは殊に腸胃病は一番に、神經質に傾き易い處の原因になるだらうと思ひます。

ソレから運動の不充分、是れは男子に就ては別段に申す處も有りませぬが、御婦人に運動の不充分なる事は日本の國にして最歎息しなければならむ、目下日本の御婦人は殆ど運動を成さらぬと申しても宜しい、此風俗は成るべく御廢止になつて、漸次御改めにならむことを希望します。運動時間を定める事、食事時間を定める事が出來たならば神經質の病人には大へんに宜しいと思ひます。最日本の家屋は空氣の流通も宜しく、西洋の家屋と比べて言へば日本人は野外に住んで居るといつても宜しい位ゐで彼の西洋室の如く戸を密閉して隙間を漏る丶風も無いやうな室内に運動もしないで閉ぢ籠つて居るのと、日本人が運動をしないで、此空氣流通の充分なる室内に在るとでは、いくら運動が足らないといつても、西洋人が運動をしないで室内に在る程の害は有りますまいが、何様運動の缺乏は日本の御婦人に多い、是れは一つ皆様方の御間で充分に御注意あるやうに願ひたい。

又神經質は傳染するもので有ります、何う云ふ處から傳染するかと云ふに兩親から傳染する、父母の神經質の非常に强いものは其子に必ず傳染する、一方から申せば遺傳も有りますが、此氣質が傳染を致します。又敎師からも傳染する、敎師が非常に神經質であれば、其薫陶を受くる兒童は知らず識ら

ずの中に神經質になります。此神經質の傳染と云ふことに就ては往々例が有ります。舞蹈病などは、即ち一の傳染神經病であつて、學校で一人手を動かすものが有ると、他の兒童が眞似をしてソレが一躰にひろがつて了う例がいくらも有ります。兒童が訥辯の眞似をして、遂に自分が訥辯になつたと云ふやうな事は幾らも例が有ります、故に神經病は隨分傳染することが多いので有ります。故に西洋では此事をやかましく言ふが、日本では未ださほど重きを置かない樣で有りますが、何卒皆樣は此事に就ても御注意を煩はして置きたいので有ります。

扨斯う御話をして見れば神經質と云ふ病は誠に忌々しき病で有る、ソレを未萠に防ぐといふには如何致して宜しきか申せば……先ッ前に御話致した原因となるべき條々に此注意あれば神經質を未萠に防く事が出來よふかと存します特に神經系の衛生と云ふ事を說た人も在りません引に一般衛生と異た點は無のて有ます、今玆に歐羅巴の專門家が神經系の衛生を申して述へたる言葉一二を申上れば「神經系の衛生と云ふことは今日迄に進み進んで來た處の開化を大古に戻すのが一番宜しい、ソレより外に無い」と云ふ事を「クラフト、エーヒング」と云ふ墺國の大家が申したが、これは實に匙を投げた言種で有る、又或人「人間が皆悉く佛者の所謂安心立命の位地に立つ事が出來るものならば(?)「世を棄てよ」と云ふ處方箋を與へる」と云ふ言を申した人も有ります、とにかく西洋では神經質に就ては殆ど匙を投げて居るので有ります。扨然れば我日本ては如何な者でしよふ匙を投る時機て在りましよ乎否

日本は幸にも神經質時代と申す時には達して居りません又元來人種が歐洲と異なります又總て衞生上敎育上の件に付ても未充分と申す次第では御座りません生存競爭の度も極點に達して居りません決して失望の時ではないと存します皆樣方の此注意によりては此忌々しき病を未萠に防ぐとも出來ましよ併ながら特に神經質に就のて衞生法と云ふものは御坐いませぬから、やはり一般の公衆衞生、學校衞生の發達を謀り夫れを土臺にして皆樣は家庭の敎育衞生に御注意なされ前に述べました處の原因に對して御注意が有ればそれで充分で有りますと存します、そうすればやゝ神經質と云ふことを防ぐことが出來やうかと思ひます。玆に神經質の衞生と致して今日御集りの貴婦人方に特に一二件御話致して置たいと存ます、先つ小兒に付て申ては小兒には安眠は最神經を休める一の手段で有ります。皆樣はそれ等の事に就ては御承知で有りませうが、先づ生れて三歲までは夜は十時間から十二時間、晝間は二三時間必ず定つて安眠をさせるが宜い、四歲になりましたらば、午睡は廢して夜の七時か八時には必ず褥に就て安眠をさせると云ふ樣にするが宜い、大人は食後直ちに寢に就くのは非常に惡るいが小兒は決して其恐れはないてす、併し食物は成べく軟かな物を與へ、殊に夜分は何に係らず小兒の神經を成るべく刺戟しない樣に注意するのが肝要である、例之ば來客の前に小兒を出すとか、或は家內の混雜した處に同居をさせるとか云ふ樣な事は最小兒に取つて神經を刺戟する大なるもので御坐ます。其他凡て小兒は大人の仲間に入れる事を甚だ嫌うので有ります。或は又音樂のこみ入りたる調べを聽

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

かせるとか、或は演劇を睹せるとか云ふ事は成るべく小兒には避けることを望むので有ります。なほ小兒に必要なるは運動でございます、天氣の朗かなる日は必す上野とか、他の閑靜なる公園などに連れて行きまして新鮮なる空氣に觸れしむるのが肝要で御坐います。毎に室內に在つて、大人と共に色々の事を見聞きさせぬ樣に致したいので有ります。次に神經の衞生に就て御注意を願つて置きたいのは婦人の敎育、これは原因の所でも御話をしました通り、學科は固より多きに過ぎぬ樣に、其他の遊藝彈琴揷花茶の湯とか云ふやうなものは最注意して適度に御授けにならなければ終に悔ひても復らぬ樣な次第になります。同じ學科の中でも女子に適切なるものを撰んで、外國語の如きは先づ御見合はせになつた方が宜からうと思ひます、外國語を二三年御學びになつたからといつて、なか／＼爾う容易に用に立つものでなし、ソレだけの智識を啓いて置かなければならないと云ふ御方も有ませうが、實際一家を支配し御子方でも出來ますと、外國語を進んで研究なさらなければならむと云ふ塲合に至らん方が多數で有らうと思ひます。元より外交家の令夫人とか其の他この外國語の必要なる方は別で御坐いますが成るべくは御見合せになつた方が宜からうと思ひます。竟畢御婦人に僅かの年月に澤山の事業を御學ばせになるのは、一ツは我邦は早婚の弊から來たものであらうと思ひます。どうしても日本の御婦人の結婚時は十八歲より二十二三歲迄で、其時を外すと少し後れたやうに思ふ、ソレ故その間に一通りの事を授け樣、高等の敎育迄も授けようと云ふ御考へ故なか／＼御身躰をいとふ暇が無

いので有ります、是れが尤も害になると存じます外の事情に關らず望みを申せば出來まする事なれば、もう少し年限を延べて二十二三歳から三十歳位ゐまでの間に始めて結婚なさる事が出來たならば總て都合上婦人教育に付ては勿論此病にとりてもよろしかろうと存します。

尙は他にも神經病の衞生と申しまする事はいろ／＼御坐います、例之ば出養生、山に登りて淸氣を吸ひ、或は海濱に遊んで海水浴をなさるとか、游泳をなさるとか、いろ／＼の方法が有りますが、總て日本では衞生上の御心得なく無鐵砲な事ばかりで劍呑のことを澤山見受ました、夫れは專門家のない爲めてありましよ他日時機を得ましたら充分特に此點に付て申し上ます、終に臨まして神經病の血筋ある人との結婚は血族結婚に付て御話を致度存じます前にも述ました通り此の兩者の子孫には神經病者多數を占めて居る、殊に其中でも最忌むべき精神病瘋癲は血族結婚並に遺傳の結果であるやうに考へる、併ながら此結婚の事に就ては只斯う云ふ害が有ると御話をするだけで、結婚と云ふものは元より衞生上から割り出して出來たものでは御座いませぬ、西洋に於ては當人同士、日本に於ては父母の考へに一任してあつて、甚だしきは生れぬ前に御定めになると云ふ樣なことで有りますから貴女方は只血族結婚は斯ふ云ふ害の有るもの遺傳と云ふは恐しき結果の來るものであると云ふとを御心得迄申し上て今日は終結仕ります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

寄書

理髪所の弊害

會員　千合登茂子 報

近頃理髪所の、衛生上注意に關して、種々論せらるゝものありと雖も、彼等同業者の間には、差程必要の事とも感せざるか、又は其必要なることを感ずと雖も、其煩雑なるが爲か、剃刀消毒の實行を企つるもの殆ど絶無と云ふべく寔に歎しきの事なりとす、但し府下京橋區の組合に於ては、先頃是等の衛生上に就て決議したることども漏れ聞たるが他の同業者も、之に鑑み、速に改良の事に盡力せられ、廣く全國に普及せしめたきものなり、

吾專職せる、耳鼻專門病院の、診察所に來る者の中、理髪所にて傷られ、夫より發病せしを訴ふるもの、數多ありて其忽にすべからざるを感ぜしかば、醫員に請ふて統計表を調べしに、實に左の如くなりき、

明治三十一年一月より本年二月に至る

耳鼻咽喉科患者總數　三八二一六人

內
耳病者　四二
鼻病者　二七

其他尙ほ後に述べぎ、諸病は、其傷きたるを感ぜずして、發病するものある由なれば、實際の統計は尙ほ之より多數なるものとす、

私は素より醫にあらず、詳きことを知るに由なけれども、久く診察所に勤務し醫師の語るを聽きもし且は實地に之を目擊して多少腦理に存するを以て、次に二三病症の概要を記して世の人の注意を乞はまほし、

一、外聽道の癤、（俗に根太と謂ふ）　外聽道を剩るの際、肉眼に觸れざる樣の小き傷を受くると雖も黴菌は之より侵入して容易に發病するものなり、初は只僅に痛を感するのみなれども、一日乃至二日を過くる時は、一個若くは二三個の腫物を生し、重症にありては耳の周圍にまで腫を及すことあり、痛は夜間殊に劇く安眠することを得す、之に加ふるに食事、人力車、歩行等に依り痛を增し婦人小兒等にありては、惡寒發熱することあり、

俗間に於ては往時より、耳痛の妙藥とて、蟬殼の黑燒、百足の油、蘿蔔の汁、馬糞の汁等を、耳內に注ぎ劇痛を忍ばるゝものあり、然ども是等の療法は、寸効だもなきのみならす、却て大患に

陷らしめ、終には聾となることあり、寔に愼むべきの事なりとす、

二、鼓膜裂傷、　耳を剔りたる後、指を耳中に入れ、急に拔き放つものあり、是れ一時心地よきものなれば、人々好み行はしむれども、大に危險なる事なりとす、此頃一患者あり、彼の語るを聽けば之が爲め鼓膜に粟粒大の裂孔を生せりと云ふ、此症は屢々見る所のものにして、平手にて耳の邊を打たれたる折などに起ると云ふ、

三、鬚瘡、　此病は鬚髯、若くは鼻毛の、根部に小なる硬き腫物を生し、後には膿を釀して痂を結び漸々近邊に蔓延し、容易に治せず、痛は輕きものと、重きものとあり、加之ならす、永く此病に罹るときは、毛根の營養を損ひ、毛の脫落を來し、面貌をして醜からしむるものなり、

四、禿髮病、(脫毛症)、　此病に關しては、先頃の本誌に記載ありし如く、昨年來仙臺地方に於て頻に流行せしが、近來又吾東京市中にも侵入し來れり、本病も又一種の黴菌に依り起るものにして、多くは理髮所に於て感染せらるゝものなり、今其病狀を述んに、初め何の痛痒をも感することなく不知不識の間、頭髮の一部脫落して、一圓銀貨大、若くは尙ほ大なる禿を生し、漸時周圍に蔓延するものにして、重症にありては、半頭乃至全頭部の、毛髮悉く脫落するものありと云ふ、輕症にありては、敢て治療を加へざるも、多くは再び毛髮を生するものなる由なれど、數月若くは數年の時日を費し、容貌をして大に醜くからしむるか故に、少壯者殊に婦人にありては、實に恐るべきの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

難病にして而かも容易に治癒し難く未だ一定の療治も定まらざれば、醫家の尤も苦心する所なればましてや坊間鬻ぐところの賣藥などにては容易に治癒するの見込なきは勿論なりとす、

以上は理髮所に就て、述べたるものなれども、女髮結とて、素と同一の業なれば、能々注意すべきのことなりとす、彼等は防腐消毒などの理を解せさるもの多ければ、宜く每に櫛、剃刀、剪刀等は、自家のものを用ゐ、決して彼等の用器を用ひしめさるを以て、最良の法なりと信す、

右會員千合氏より寄送せられたれば其序に「ドクトル」ハインリッヒ、ベルゲル氏の意見を假りて玆に參考に資す

ベルゲル氏は理髮所の傳染病媒介の恐るへきこと及び傳染すべき病症幷に傳染の媒介物等を擧げ尙理髮所をして此傳染を防ぐには詳細の規定を設くるの必要を論じ其結果を左の十六項に列記せり

一、理髮所の衛生法は大に注意して不斷厲行すべし之に依りて理髮料の騰貴するは已むを得ざるなり

二、理髮所に於ては皮膚毛髮鬚髯及生殖器の疾病並に他の傳染病を傳播せしむべからず

三、理髮職をなす者は癲癇各種の痙攣病亂酔病及他の傳染性の疾患を有す可からず

四、皮膚髮毛鬚髯及生殖器の傳染性疾患ある人は普通の理髮所に於て取扱ふべからず宜しく自宅に於ける自己の器具を以て理髮せしむるを良しとす

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

五、總て自己所有の器具を以て理髪することを得ば最も良好なりとす
六、毛刷は最も良好なるものを擇み櫛は角若くはゴム製又は鼈甲製を用ゆべし
七、毛髮の粉刷に代ふるに小なる綿球を用ゐ一回使用毎に之を投棄すべし
八、手巾、手拭、被布は毎に清潔なる洗濯品を用ゐ麻布製手拭は高價なれは寧ろ價廉なる紙製手拭（西洋料理に用ゐるハンカチーフの類?）を代用し乾燥の後之を投棄すへし
九、櫛は一回使用毎に昇汞水に浸して消毒し剪、剃刀等は一回使用後之を煮るか或は無水アルコホル中に浸し綿球を以て清洗すべし
十、革の砥に呼氣を吹きかけ手を以て洗ふを禁ずべし
十一、頭は屢々よく洗ひ此際頭を掻くべからず所謂圓筒は成るべく用ひざるを良しとす
十二、理髪職工の手は常に清潔に洗淨し衣服は勿論清潔にして白布を纏ひ領及袖口等は密に閉鎖するを良しとす
十三、頭髮を剪理する際は毛の粉を吹き去るべからず
十四、理髪職をなす者は勿論誰人も豫じめ傳染性疾患殊に皮膚毛髮鬚髯及び生理器の疾病を知るを要す
十五、規則を明了に記載し最も見易き所に掲示すべし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十六、理髪所は願出で許可を受けしめ且不斷監督せさるべからず
右ベルゲル氏の意見の如く此規定を實行したらんには蓋し傳染病媒介の患少なからん、なれども我國理髪所の如き古來慣習の久しき規則中實行し難きもの多しと云へとも假令ひ一部にても實施することを得ば衞生上其効益實に尠からずされば玆に寄書と共に世人の注意を促す

衞生叢談

白粉を裝ふ起原

一躰髪を結ひ白粉を附けると云ふ風の起つたのは極く古いことで人間の出來たてにそう云ふ心が自然起つたので三千年以前に亞刺比亞人が色々の方法を以て自分の身躰を奇麗にしたことがある亞刺比亞より亞非利加に至りぬ希臘に渡り小亞細亞に移り夫れより次第に歐羅巴に渡りて來たのです日本も同じことで印度から支那に渡りそれより日本に來たのでありますが日本にても昔から今日迄身躰を奇麗に見せ樣と云ふのは色々の仕方が流行に因つて違つて來て居る今日は日本にても西洋にても白粉を附ければ大變に奇麗になるとし居りますが昔しで言へは白粉を附けるよりは却つて顔に赤いものや黒ひものなどで模樣取りをした方が奇麗であると信じて居りました時代がありました又紅の類又は草の根の如きものを用ひて美くしく見せると云ふ有樣でありまして文身が流行り又色取り

するのが流行し終りに白粉を附けるのが流行る樣になつたのであります

皮膚を奇麗にする仕方

一躰白粉を用ゐますのは身躰の皮膚を奇麗にする所の仕方で御座いますけれ共此れは眞正に奇麗にするのではありません眞正に奇麗にするには塵埃を去り垢を取り脂肪を取り皮の表面が白くなり皮膚がスベ滑くなり又透き取る樣に麗はしく見せるのは一ツの仕方で是は誠の身躰を奇麗にする方法で御座います併し白粉の方は只皮を奇麗にせずに皮の汚穢を覆ふ爲めに上から粉を付けて匿すのてありますから一躰の起りが違うのであります

さて皮膚を奇麗にする所の仕方にはいろ〳〵ありますが水で身躰を洗ひ石鹼を遣ふ其外身躰の「キメ」を細かにする所の藥がありますが就中硼砂などを本にして拵へた所の藥があります又は所に因りますと極く新らしい所の肉類を用ゐる事があります假へば鳥の肉(鳩の肉)或は極〳〵新らしい牛肉の樣なものを寢るときに擦り貼けて置いて朝顏を洗うと奇麗になる又鷄を殺して肉を擦り付け前同樣になすもよし獨逸邊で大變用ゐますのは黃瓜の露牛肉などを基にして色々の賣藥がある又米を磨いだ水で身躰を洗ひますのは何の害もなく功能のありまする事で御座います「キメ」も細かになりますし夫れに從かつて身躰の蒸發も能くなりますから風を引く樣な事も少なくなります

白粉の種類及良否

今日迄在りまする所の日本に限らず西洋の白粉を見まするに隨分色々の物が有ります先づ米の粉麥の粉を白く洒した者或は蜊の殼を燒き極く細かに

して造りたるものあり或は炭酸マクチンヤより造るものかありまず獨逸邊では恰も「ワサビ」の根の様なものを乾し固めて之を牛乳で解いて付けるものかありますが其中で皆様も最早御存じでありませうが鉛の這入ッたものか一番毒になるのであります米麥糊の粉などは害はありませんか所謂炭酸鉛、炭酸と云ふものと鉛と結ひ付いて居る者は毒でありますから白粉を用ゐる方々はよく白粉の良否を鑑別することを知らねばなりません

白粉の良否鑑別法

白粉の良否を見分けますには分析すれは直くに分かりますか此仕方は學問上に渉りますから先づ白粉の善いか悪いかと云ふことを知るに何方でも解ることがありまず夫れは盃に白粉を一杯入れ置きましして之を目方にかけて目方が重い方は鉛或は亞鉛の分量か多く這入ッて居る證據でありまず故に白粉を求めまするには價値によらずして目方を吟味せねばなりません若し疑はしき白粉のときには珈琲などを呑む銀の匙の上に白粉を少し載せて能く火のオコッて居る中に入れ而して之を醒して跡を拭いて見ますと好い白粉なれは銀匙に少しも變もありませんが其中に鉛若くは亞鉛のあるものは銀匙に錆ひの付くものが出來ますソコで濡れた布で拭きますと後に錆が殊つて此白粉の中には鉛が這入ッて居ると云ふことが分ります又白粉の中に「流化水素」を注ぎますと鉛かありますものは真黒になり鉛のないものは白粉が矢張り白く以前の通りて御坐いますからよく其良否か分りますから皆様御注意になりて御購求になりたいものであります尚鉛毒の害も說いて述たいのでありますか餘白

かわりませんから何れ又次に讓ります

近事片々

◎中央看護法講習所卒業式　看護婦の改良を圖らんが爲め小兒科醫朝沼肇太郎顯微鏡院主遠山椿吉の二氏主唱として 仝講習所を設け去十二日其第一回の卒業式を大日本私立衛生會々場に於て擧行沼野氏遠山氏の挨拶及告辞等あり 次に警察醫長山根正次君には本所講習の美事を稱賛し職務上より 看護婦の改良取締に關し常に苦心せる事情を述べ尙ほ歐洲に於ける看護婦は華族の 慈惠事業なりとて獨逸のレオクスタボスダルールの例を擧げ 皇族並に貴族の夫人令孃は實際に於て一人前の看護婦にして 其躬親しく患者の病狀に臨みて熱心に看護に從事する其の慈惠心は洵に感ずべきなるに顧つて我國看護婦の現狀を見れば 一部少數の者を除きては歎慨に堪へざるものなりとて本講習所の設立を賛し 尙醫學士山田鉉藏氏の演說等あり式終りて來賓一同に立食の饗應あり 本所生徒は始め十四名ありしが或は自己の都合により 或は當所の規制により退學を命ぜし者等ありて人員追々減少し 當日の式に列する者は三宅正 小笠原はる 富津鶴代の三名なりきと云ふ

◎海港檢疫所　仝官制は去十二日檢疫官等俸給令及び 仝檢疫官補任用令と共に發布せらる檢疫所は橫濱 神戶 長崎の三ヶ所及肥前國口ノ津に長崎の海港檢疫所の支所を置き 檢疫官は高等官四等以下七等以上同補官は四等以下五等以上にして 夫々任命せられしと云ふ

◎停車場の待合所　西洋の停車場には一等 二等の待合あると共に病人の待合室を設けあるが我國の停車場には 是等の用意なき故に汽車中にて病氣に罹りし人は停車場に降りて休息すべき所なく身は苦しき病ひに犯さるゝも普通の待合室に入りて 騷がしき雜沓の中にありて車に乘るか病院に行く迄は甚だしき 不便と苦惱を感ずへければ我國にても同待合室の設けありたき者なり

◎コッホ氏の熱帶地方旅行　有名なる獨逸の醫師ロパトー、コッホ氏は今般マラリヤ熱の性質原因を研究せんが爲め 熱帶地方に出發する筈にて之れが爲め獨逸議會は 六万マークスの補助金支出を可決したりと云ふ

◎警視廳の衛生主任會　警視廳にては去十三日午前八時より警察署衛生主任を召集し山根第三部長會頭となり傳染病豫防に關する內務大臣の訓令に付訓示するところあり 殊に赤痢腸窒扶斯の豫防飮食物狂犬病淸潔法傳染病隱蔽避病者 取締等其他の諸件に就き主任會を開きしといふ

◎職工者と肺病　神保醫院主任鈴木萬三郎氏の 調査によれば職

工百七十名の中貳拾五名の肺病患者ありしよしにて醫學上にては疾病中肺病が百分の一以上に出では既に蔓延さして認めて然るべきよしなれば百七十名の中貳拾五名あるが如きは驚くべき大多數なれば近日同氏等は工場衛生演説會を開きて輿論に訴ふるよし

○我國醫師現在數　内務省醫籍に列せる者最近の調査の據れば其數左の如し

醫科大學卒業者	一、四七〇人
高等學校醫學部仝	一、八四一人
府縣立醫學校仝	二、一八八人
外國醫學校仝	五三人
内務省開業試驗及第者	九、三三二人
奉職履歴者	一、三四〇人
限地開業醫	四五八人
從來開業	二三、二三八人
總計	三九、八五九人

是を人口四千二万人に配當するときは平均千四人に一人の醫師を有する割合なるも多數の醫は市若くは町に住し僻村島地に至りては人口一万に一人の醫すらなく尙病院醫若くは代診醫技師或は技手となれるものを控除せば吾人健康保護者たるものは其數大に減すべし本邦醫學の進歩せるに拘はらず醫家の數夫れ斯の如し醫生の普及せざる亦宜なるかな

○衛生講習會卒業式　去る五日午后一時より大日本私立衛生會に於て土方會頭長與副會頭長谷川、田原、山根、松井、石黒、坪井の諸氏及役員講師來賓等十數名臨席第六回同卒業式を擧行し會頭の告辭田原氏の衛生科學に關する演説來賓石黒氏の土木衛生に關する演説等あり式終り立食の饗應ありて同五時散會せられしが今回の講習生は警部二名技手一名郡醫其他及屬員十九名巡査十四名市書記三名村吏一名縣屬一名其他十四名にして總計六拾名なりしと云ふ本會へも案内狀送付せられしが差支の爲め來會を得ざりき

○學校病類別　學校に於ける生徒病類調査の參考に資せんが爲めにとて文部省學林衛生主事室に於ては今回病類別表なるものを編纂して各學校に配與したりといふ

○日本体育會　國庫より每年一万圓宛同會へ補助金を下附することゝなりしに付陸軍、海軍、内務、文部、の四省より各監督官を任命せらしを以て不日監督官の總會議を開き体育普及の方法を協議すべしといふ

○萬國肺結核病撲滅會議　本年五月伯林に於て萬國肺結核病撲滅會議なるものを開會し普く各國の醫學博士を參列せしめ同病根治の方法を討究するに就き今回同會より我が政府よりも代表者を參列せしむべき通牒を送り來れり因て内務省にては目下同國に滯

在中なる血清藥院技師兼内務技師高木友枝氏に電報を以て同會へ我が政府を代表して參列すべきことを命じ併せて痘苗製造に關する調査を囑托せりと云ふ右に付同氏の歸朝期は向ふ六ヶ月延期せりといふ

○消毒器の拂付　日清戰爭の際似島檢疫所にて使用せし消毒器三個の内一個は内務省より東京市に下付せられしが右は過日砂村の消毒所に到着し目下拂付の最中なるが本年度より之を使用し避病院其他の不潔物を消毒する由

○香港の檢疫所設置　香港よりの電報によれば香港政廳は今回臺南及安平等にペスト流行に付右二港より來着する凡ての船舶に對して檢疫を施行する事とせり

○本年最初のコレラ病　去る十日神田區佐久間町小舟某眞症コレラ病に罹る是れ本年同病の初物とす第二回は京橋區松川町宇山某類似コレラ病に罹り即日斃る其次は横濱のコレラにして之れは七十の老婆が前夜正覺坊を多量に食せし爲めならん之等の不攝生は特別ながら時下不順殊に花期の候飲食物は充分注意せらるゝこそ肝要なれ

○青森旅行者の注意　青森縣下青森市及び同東津輕郡に於て目下天然痘患者發生の趣通知あり同縣へ旅行せんとするものは豫め種痘を行ふ等注意するを要す

○西越地方麻疹流行　三島郡西越地方に於て過般來麻疹流行して既に一家二兒の死亡せる所もある位にて中には私爲醫業の徒の手に罹り療養不充分にして蔓延の來すの恐れありといふ

○新潟監獄内の脚氣病　仝所脚氣病患者は一時非常に蔓延して先月末に至りては病監現在三十七名に減少し昨今は全滅の有樣なりと而して初發以來死亡者は八名なりし由なるが内三名は肺結核併發の爲めにして眞に肺氣にて外れしは僅かに五名にして目下大に麥飲を奬勵せりといふ

○獸疫流行　東京市外二府三十縣に於ける去月中の獸疫數狂犬病三、皮疽及び鼻疽病七百三十九、炭疽(牛)一九氣腫病(牛)三にして本年一月より先月末迄の統計は狂犬十四頭皮疽及び鼻疽千四百二頭炭疽五十五頭氣腫疽十二頭にして昨年に比すれば何れも增加の傾きなりと云ふ

○狂犬數名を噬む　赤坂一ツ木町を徘徊する野犬狂犬病に罹り去る十四十五日の兩日に一人の少女と外二人の男子外巡査一二名に噛み付かれしものあり因りて赤坂署の巡査は帶劍もて之を斬り殺し警視廳より獸醫出張解剖せしが生前は眼眩み饑たる狼の如き勢ひにてし金石を厭はず食ひ付き居りしが解剖の結果によれば全く狂犬病の兆候を呈し胃の中には砂、石、木の葉、木炭、人毛、魚骨等ありて四五日間は食事をも爲さゞりし其次は相州三崎油壺地

方の狂犬騒ぎにして之も同兆候にして數人に噛み付きたるより其筋の手にて撲殺せしが赤坂及び訓設地方の被害者何れも傳染病研究所北里病院に於て豫防注射の治療を受け居るといふ

○赤痢病の影響　昨年赤痢病流行の爲め直接間接に我國の生産上に及ばせる影響の大なることは世人の知る所なるが全國就中同病の猖獗を極めたる山梨縣北都留郡猗原村全部に於ける直接損害高は金一万六千圓間接損害高は二万五千三百圓七十五錢の多きに達せりといふ

大日本婦人衛生會記事

本會春期懇親會景況

四月十五日第三土曜日午后一時より牛込區早稻田大隈伯の邸内に於て本會の春期懇親會を開きたり此日や夜來の雨既に霽れて天氣清朗なりしかば出席するもの無慮參百拾餘名の多きに及び來賓には博士學士紳士外國婦人等四拾餘名參會せり今當日園遊會の景況を記さんに庭園の入口には洋風佳麗の植物室ありて多く海外珍奇の花卉草木を蒐藏せり之れを一見して庭園に出づれは四方廣濶各所に小丘ありて本館の前面には翠色掬すべきの岡陵あり繞らすに池水を以てし風景特に佳絶なりき因て來賓席を此地に設け池邊風暖かなる地には會員の休憩所を設け尚各所の芝地には椅子卓子を配置して會員散歩小憩の所とすやがて午后一時の頃に至り會員續々參集するや陸軍々樂隊の演奏は始まれり當日は植物暖室の縱覽を許されしかば會員は思ひ〳〵に植物室を觀覽するものあり或は小丘に池邊に或は後庭の植物室に散歩逍遙するあり或は又軍樂の演奏を靜聽するもありて一々名狀すべからず軍樂第一回の演奏終れは會員一日は先づ本館に集り席定まるや仁禮會長濱尾副會長には開會の挨拶及大隈伯爵夫人同若夫人を會員に紹介して今回入會せられたる旨を述べられ次に藥學博士田原良純君には大隈伯爵を會員に紹介せらる伯爵には精神と身躰の衛生に就て演說せられしが今左に其大要を略記せん

皆樣衛生の事は勿論大切なることで御座いますか

皆様は既に今迄澤山衛生に就き御講義も御聽きゝになりて充分御承知の事と存しませば私は爰に申上るにも及ばぬことゝ思ひますが私は精神か衛生に非常に關係あることを一寸と申上ませう如何によき滋養物を食するも精神不快を感じ居る時は其食物も消化せざるべく又如何に身躰を清潔にし衛生上の事に注意するも常に家庭に心配ありて精神之れが爲めに快々たる時は身躰次第に衰弱を免かれぬ事なり

左れど婦人方は特に注意して常に精神を爽快に持たれたきことにて少しく疲勞を感する時なとは庭園に出で花でも見て精神を樂しましむるも宜しかるべく又時々音樂を聽き或は舞踏等も精神を樂しましめ爽快ならしむるに宜しからむ斯く精神を樂くする時は食物消化の力も増加し身躰は次第に健康になり事にもよく〳〵氣入りがして讀書するも了解の力を増し物事よく分りよく働ける樣になり自然に顔色も麗はしくなり婦人の貴ばるゝ容貌も一層美しくならるゝとならん我國人とても西洋の開明と並び立つ日は確かに來るべければ今より婦人方は心を用ゐて精神を爽快になし身躰を丈夫になされば斯る丈夫の方の子供は自然に大きくだん〳〵と西洋人も及ばぬ位にならむも限らぬことなり然るときは餘り太り過ぎて容姿か醜くきなとの掛念もあるべけれと斯る場合には腰部をふくらす服裝とか何とか工夫も充分あるべければ衛生の爲め美は益増加する事と思ひます

精神か身躰の衛生に大關係を有することは私は豫て考へ居る事なれば之を委しく御話致すときは少くも二三時間を要すれば今日はたゞ其大要を一寸と申上しまでなり云々

右終るや野村與作連中の狂言は始まれり何れも猾稽諧謔にして就中博士學生連の狂言(うつぼ猿)の如きは大に會員の歡を惹きなるか如く中々に上出來なりき右にて一同休憩をなし用意の折詰茶菓等を來會者に頒ち休憩中は軍樂隊特殊の演奏ありしが六段、老松、勸進帳等の如きは會員の賞賛するもの多かりき夫れより尚交互狂言及演奏等數番あり一同歡を盡し散會せしは五時頃なりしが頗る盛會なりき

尙當日擧行順序は左の如くなりき

一、開　會　午后一時
二、園內散步
三、メンノセール(ワグネール氏作行進曲)陸軍々樂隊
四、マルメ(フロトー氏作大序曲)　中小隊演奏
五、六　段　箏曲
六、ぬけがら　野村與作
七、附　子　連中狂言
八、うつぼ猿　學士連
九、休　憩
十、フラスト(グーノ氏作歌劇)
十一、老　松　長吹　軍樂隊奏演
十二、ミカドワルス(ピガロ氏作舞曲)
十三、勸進帳
十四、カドリ
十五、釣　針　狂言學士連
十六、小野山　箏曲
十七、軍隊行進曲　軍樂隊演奏

以　上

○懇親會寄附

一菓　子　邸內數か所へ　大隈家より
一金參圓　會長　仁禮壽賀子
一菓子及サンドウ井ッチ數重　幹事　鳩山春子
一小澤卯之助著武術躰操法　一冊　來賓　小澤卯之助君

入會者

自三月至四月入會者

○幹事北澤信子紹介
日本橋區久松町二十九番地　通常會員　杉浦いと子
仝所　學　生　志村小恒子
仝所　仝　林この子

○會員今田はつ子紹介
深川區東元町一番地　通常會員　高須泰子

○幹事松平芳子紹介
麻布區我善坊町三十四番地　通常會員　棟居みち子

○畑谷よね子紹介
淺草區左衞門町一番地　學　生　田邊いく子
埼玉縣北埼玉郡忍町行田四十番地　通常會員　寺田ひさ子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

○事務所へ申込
京橋區銀座壹丁目十七番地　學生　金森さや子

○幹事鳩山春子紹介
牛込區原町二丁目二十九番地通常會員　松本萩江子

○宇佐美きち子紹介
日本赤十字社　學生　石川しづ子

○進利子紹介
麹町區上六番町三十三番地　通常會員　眞野たか子

○西村とよ子紹介
芝區三田豊岡町二番地　通常會員　松本豊子

○　紹介
本所區若宮町八十七番地　通常會員　粟原いね子
麻布區我善坊町三十四番地　通常會員　松崎すぎ子
日本橋區吉川町八番地　通常會員　古屋かま子

新潟支會及千葉支會入會者

○中野悦子の紹介により
新潟市本町通十一番町　大橋とめ子
仝本町通八官町　大橋とし子
仝所　石高てい子
仝所　石高なみ子
仝東仲通り二番町　吉井くに子
仝　相川いち子
仝旭町一番町　森りく子
仝醫學町通り　藤沼きみ子
仝學校町二番町　松井ふで子
仝所　中野けい子

千葉支會入會者　板垣芳子
同　筒井とめを子
同　土方しげ子
同　藤波やゑ子

轉居

三月中轉居
大阪市東區谷町三丁目二百八十番地へ　北代幸子
名古屋市仁輪町へ　佐野英子
藝州呉和庄町二千百三十八番地へ　岸美與子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

京橋區築地三丁目十一番地へ　澤邊れん子
淺草區田町一丁目九番地へ　田中たか子
神田區五軒町六番地藤川方へ　鈴木よふ子
麻布區笄町百四十番地へ　圖師さ代子
北海道公立江差病院へ　竹中許子
京橋區山城町三十番地鳩山事務所へ　上原豊子
本郷區元富士町二番地久德方へ　高木操子
小石川區原町十二番地筒井方へ　富澤いく子
相州横須賀深田四十番地へ　加茂東美子
芝三田切通町十九番地へ　蘆田操子
四谷區本村町三十九番地へ　本郷いく子
麴町區上二番町女子學院へ　駿河翠子

正誤

○先月雜誌姓名表中　京橋區西紺屋町八番地
牧野文子を脫漏に付茲に正誤す
○右姓名表中　地方の部　油井、蜂岸、白澤、三氏
の宿所誤植相成居候に付左に正誤す

福島縣福島町　終身會員　油井なか子
埼玉浦和町師範學校內　峰岸政之子
栃木縣下都賀郡栃木町　白澤彌與司子

廣告欄

○齒科診察
東京日本橋區本町二丁目
齒科醫　高橋孝子
齒科醫　高橋虎一

傳染病に非ざるも病人ある家は消毒必用なり産前産后轉宅等凡そ不幸ありし居室に對して消毒を怠る時は不測の危難を家屋に遺留す故に春夏秋冬傳染病の有無に不拘未發的豫防法に重きを置く
外來部は消毒料即答
巡回部は見積を前陳

東京瓦斯消毒所
本部　淺草松葉町八十八番地

私立大日本婦人衛生會規則摘要

一 本會の目的は汎く婦女子をして人生の健康を保持する方法を講究し衛生上の智識を開發せしめ隨て社會全般の幸福を增進するにあり

一 會員たると欲する婦人は何人にても入會することを得

一 入會の節は姓名族籍住所及會員の種類を明記し本會事務所に申込むべし入會者には會員證を交付す

一 會員を分ちて終身特別及通常の三種とす

一 終身會員は一時に金拾圓以上特別會員は一ヶ月金貳拾錢以上通常會員は一ヶ月金拾錢を納むるものとし學生其他事故ある者は減額して金七錢を納むるものとす

一 男子にして本會の旨趣を贊成する者は之を贊成員とす其會費は本會員に同じと雖も本會に功勞あるもの又は本會に於て特に贊成員たることを望みたる者は役員の協議に依り無會費とすることあるべし

一 會員は本會に於て毎月發行する雜誌を無料にて受ることを得

一 退會せんとする者は會員證を添へ本會事務所に報知すべし死亡する時は親戚知友より通知すべし

一 集會は例會總會及評議員會とす集會は八九月を除くの外毎月一回とし常通第一土曜日午后一時より開會するものとす
但毎會學識經驗ある者に衞生上の講義演說談話を囑託し會員をして隨意聽講せしむるものとす

一 會員は家族〃婦女若くは知己の婦人を本會々場に誘致し講義演說等を陪聽せしむるを得

一 講義演說等は男子の傍聽を禁す但贊成員若くは會員 緣故ある男子は此限にあらすと雖も本會の都合に由り臨時謝絕することあるべし

● 支會

一 地方に於て本會々員十名以上發起者あるときは其規則を定め本會長の承認を受け支會を設立することを得

一 本會々員にして支會を設立せんとするときは發起者の姓名を記載し申出づべし爾後員數增減あるときは其姓名を支會より本會事務所に報知すべし

一 本會々員にして支會に加入したる者の會費は本會に納付することを止め支會の規定に依るものとす尙詳細は本會事務所へ承合すべし

注意

一 會費は郵便小爲替にて本會事務所々在の郵便取扱所（四谷郵便局）宛振出あるべし

一 會費金は受領證を交付すべしと雖も地方會員にして小爲替又は郵券にて納むるものは受領證送費にして別に郵券二錢を添へらるべし然らざれは受領證を送付せず
但止むを得されゝ場合には郵券を代用するも妨げなしと云へども總て一割とす

一 轉居せられたるときは其旨直ちに本會事務所宛通せらるべし

一 會員中若し本會の障害となるへき所爲ある者又は屢々會費を督促するも納付せざるもゝは役員會の決議を經て除名し若くは廣告することあるべし

廣告料		
一頁	金二圓	總て前金とし割引せず
半頁	金一圓	
一行	金六錢五厘	

本誌定價 壹部 金拾錢 毎月一回發行

發行所 東京四谷區仲町三丁目廿三番地
大日本私立婦人衞生會

編輯兼發行者 東京牛込區矢來町三番地
田中德三郎

印刷者 東京牛込區矢來町三番地
吉岡嚴八

印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地
株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

（明治二十六年四月四日遞信省認可）